



みずなみ防災会 女性部会便り

第14回女性部会開催報告 (令和5年度第11回)

■開催日：令和6年2月8日(木)19時～ ■会場：ハートピア 2階 研修室

■出席者：9名(報告者含む)

- 議 題：1. みずなみ防災会の活動報告 ⇒ 時間が無く次回へ
2. 「能登半島地震の被災地の支援活動の情報共有」
3. その他

1月1日に発生した「能登半島地震」の被災地に支援活動に赴いた2名の方に現地での状況や支援活動の内容についてお話を伺うことで、被災地での支援活動に関する情報共有をしました。

小栗雅子さん

栄養士の災害栄養支援チームとして地震発生後3週間後に現地入り、5泊6日被災地にて栄養士会が所持しているキッチンカーで栄養支援活動を行った。栄養士の活動を知っていただければ。



〈活動〉

- ◆ 被災地での栄養促進。
地震発生から3週間はタンパク質・ビタミン・ミネラルが不足するため、栄養素を補える栄養食品を配布し、食べ方、飲み方を説明。
- ◆ 活動拠点に金沢市、七尾市に栄養ケアステーションを作り、そこから被災地を巡回し、栄養特殊食品を提供。
- ◆ 栄養ケア
金沢市にある二次避難されている施設内のアリーナでは、病気や嚥下状態などから医師の食事の処方箋もと、食事を提供。
- ◆ 栄養相談コーナーを設置。
低栄養、アレルギーなどの相談に対応。

〈課題〉

- ・アレルギーに関する食事が必要。
- ・“入れ歯”を装着しておらず、そのまま避難した高齢者は硬いものが食べられない(噛めない)。
- ・新鮮な食材が一切ない→野菜接種不足、便通困難になる。
- ・糖尿病食などに対応できない。
- ・アルファ化米の食べ方が分からなかったり、時間がかかるため、手を出さない。手軽に食べられるカップラーメンを選んでしまう。
- ・レトルト食品を電子レンジにかけて爆発。
- ・嚥下困難者用の食事の準備は、湯煎にして柔らかくすることが精いっぱい。

〈対策〉

- ・普段から非常食の作り方を知って、食べ慣れておくことが重要。
- ・慢性疾患のある方は、自分の食べられる非常食を準備しておく。

中村佐記子さん -女性部会長-

認定 NPO 法人レスキューストックヤード(RSY)代表理事栗田氏から声がかかり RSY の枠組みで避難所の支援活動に協力した。1月27日～31日まで、鳳珠郡穴水町にて活動。

避難所はあくまでも“自主運営”のため、自主運営ができるようになるための手助けとして活動。

[前準備として]

1週間前より毎晩 20:30～zoom にて現地ミーティングに参加し情報共有。課題から、地元の介護福祉用具業者に相談し、物資を提供していただき、現地に持参した。

〈活動〉

数十名避難者が生活している体育館や交流館、10名ほどの避難者が生活している集会所の避難所7カ所で活動。

◆ 避難所の環境整備

- ・提供品の古着を取りやすいように設置。
- ・「認知症マップ」が支援物資の中にあり、認知症の方に使っていただき気持ちが落ち着いた。
- ・パネルを下に敷いて冷えをしのいでいたため、畳を敷く。
- ・体育で使用するマットを利用している方に段ボールベッドを設置。空きスペースができ、皆さんが集まれる共用スペースとして活用できるようになった。
- ・避難所での着替えスペースを設置。
- ・同じ人たちが食事の配膳をしており、少し休んでもらうため配膳の手伝いをした。

◆ 足湯を行い、それをきっかけにした“つぶやき”や会話から支援につなげる

- ・こもりがちな女性高齢者が杖が無く、自力歩行ができないことが判明。杖を渡し、スリッパからかかとのある履物変えることで、独歩可能になり皆が集まっている場所に参加するようになった。
- ・自宅の片付けなど、ボランティアに依頼する手段もあるとお話しをするが、躊躇している方が多い。じっくり話し、災害ボランティアセンターの連絡先を伝える。
- ・車いす利用の高齢者男性はデイサービスが休止のため、あまり動いてない。避難者のニーズに合っていない難しい筋力アップ体操だったため、座ってでもできる介護予防的な体操をお願いした。

〈課題〉

- ・いろんな人がいて避難所運営はしているが、高齢者が多いため思うようにいかないのが現状。
- ・避難所の役割が同じ人たちに固定化している。
- ・介護サービスが停止、福祉用具が避難所に少ない。

〈対策〉

- ・避難所では主体となって避難所運営ができる人、運営してくれる人、避難所でのルール決めや役割分担が必要。特に避難所開設直後にトイレの使用方法を徹底するときれいな環境を維持できる。
- ・普段から災害ボランティアセンターについて民生委員さんなど、自治会の方に知ってもらっておく。
- ・避難所に福祉用具を準備できるといい。



★みなさんには、このような避難所での課題を知ってもらい、避難者と同じ目線で主体となって避難所運営に関わっていただきたいと思っています。

普段からの地域活動や防災の取組と連動して、住民それぞれが理解を広げて準備していくことがカギになるような気がします。報告会後は参加者皆さんで自由にディスカッションをしました。今回は東日本大震災で被災された原田さんにも参加いただいていたので、自身の被災経験をお話ししてもらい、参加者の皆さんにも当時の状況を知っていただく機会となりました。

【次回 第15回(令和5年度第12回)みずなみ防災会女性部会】

- ◆開催日:令和6年3月14日(木)19時～
- ◆会場:ハートピア 2階 研修室

皆さんのご参加
お待ちしております



《発信元》

みずなみ防災会 女性部会 事務局

〒509-6195 瑞浪市上平町1丁目1番地 瑞浪市役所 生活安全課 内 TEL.0572(68)9736

E-mail: mbc.woman2022@outlook.com